



令和6年10月29日

11月クラスだより

ゆりかごこども園

すみれ組

「運動会楽しみ～」と言いつつも、練習の時からとび箱の前に立つと、ドキドキの子どもたち。夏の暑い中公園でお家の方と一緒に練習をしたり、お家の方にとび箱にならしてもらって練習した子もいました。

クラスで練習をしていると、突然拍手が聞こえてきました。すると、一人一人の演技にみんなが拍手を始め、理由を聞くと、「拍手があると、もっと頑張れるでしょう？」とAちゃん。拍手があることでみんなのポーズもキリッとしてきました。逆上がりが苦手な友だちに、「ここをこうやってごらん」、「わたしもママと、こうやって練習してきたから〜」、「そうそう、もう少したよ、きっとできるよ！」と友だちを応援し、とても心の成長を感じました。

色とりどりのてるてる坊主をみんなで作り、晴れを願いましたが、最後の運動会は残念ながらビデオとなりました。子どもたちの成長した姿を、楽しみにしててください。

きく組

運動会で様々なことに取り組んできたきく組さん。音体は、4月から練習が始まり、カラーガードを持って演技をし、隊形移動をする等、初めての練習ばかりで、難しそうにしている姿も見られました。でも、エソエソと練習を重ねていくことで、子どもたちも自信を持って演技できるようになり、自由あそびの時に、友だちと音本の曲を歌いながら練習してみたり、お家でも自分から進んで練習したり...と、子どもたち自身が楽しく取り組む姿が見られ、嬉しく思いました。他には列を揃えて歩くことを意識したり、進みはびきを着てから良く踊る鳥子、一生懸命練習して「できることがたくさん増えた！体育、目が全力を出して走ったかたこなど」それぞれの練習を日々頑張りました。一人ひとり、それぞれ得意なこと、苦手なこともあったかと思いますが、どんなことでも一生懸命取り組んだ経験が子どもたちの心と体を大きく成長させてくれたと思います。これからも様々な経験を通して大きくなっていく子どもたちの成長を見ることが楽しみです。

うめ組

運動会の練習を通して一回り大きくなってきたうめ組さん。1体育あそびでのマットや鉄棒、とび箱で、難しくて涙する子もいました。「できない」「わからない」と諦めてしまうこともありましたが、練習を続ける中で「やってみようとする姿が増えてきました。お家で練習してきて、「できたよ!」、「見て!」と、嬉しそうに教えてくれる子もいました。たくさん練習し、頑張る姿ことごとく成長を感じました。これからも色々なことに挑戦し、成長していけたらなと思います。

もも2組

園庭に出ると、落ち葉を拾ったり、カマホリやトンボを見つけたりと、自然の触れ合いを楽しむもも2組さん。捕まえたトンボを虫かごの中に入れ、観察してみると、動くトンボを嬉しそうに見る子や、「目の色が茶色だね」と、「犬突見」をする子など、楽しそうな子どもたちの姿に、こちらまで楽しくなる毎日です。子どもたちと秋の虫や落ち葉など、秋の自然との触れ合いを楽しんでいきたいと思ひます。

もも1組

子どもたちは、室内では音楽に合わせて動物表現をして遊んだり、戸外では、砂場遊びやゴンドラなどで乗ったりと、元気いっぱい過ごしています。最近では「お外にいくよ。」と声をかけ、帽子を出すと、自分でかぶろうとしたり、靴箱から出してきた靴を自分ではこうとする姿が見られるようになりました。「すごいね」と声をかけると、(まめられた事)がうれしくて、自分でもパチパチと手をたたいてかわいい笑顔を見せてくれます。

とはいえ、まだひとりではうまくいかないので、怒ったり、手伝ってもらったことが気に入らなからたりと、子どもたちの表情は様々です。色々な場面でも、「ここを持って、くいくいね」、「いっしょにやってみようか」、「いち、いの、さへん!」など、言葉で動作を伝えたり、楽しみながらお手伝いすることで、簡単な身の回りのことに関心を持って、「やってみよう!」という気持ちで取り組んでいくと嬉しいです。

